



ふたがわ

第44号

編集・発行 豊橋市立二川小学校

(0532) 41-0550

めざす子ども像
ふたがわのよい子

- やさしい子 (徳)
- 考える子 (知)
- たくましい子 (体)

「恕(じよ)の心」

校長 野口 正芳

今年度もあとわずかとなりました。四月から新学年となり、お子さんは新たな気持ちで学習や運動等に取り組んできました。スポーツフェスタや本爺ランでは、たくさんの友達と笑顔いっぱい活動する姿、そして、保護者の皆様の温かな応援があり、とてもうれしく思いました。

さて、十二月の朝会で全校児童に「世界人権週間」の話をしました。「人権」とは何でしょうか。「人権」とは、人間が人間らしく幸せになる権利のことです。友達や相手のことを思いやって過ごしましょう、と話しました。思いやりはどこに表れるのでしょうか。思いやりは、「言葉」に表れることが多いです。でも、時に人間はその言葉の使い方によって、誤ってしまうこともあります。

私の好きな言葉を紹介します。それは、「恕(じよ)」という言葉です。中国の孔子の弟子が、「世の中を生きていく上で、最も大切にしなければならぬことを、一言で表すとしたら、どんな言葉でしょうか」と尋ねたのです。孔子は、「それは「恕」である。自分がされていやなことを、人にしてはいけない。人からされてうれしいことをしてあげなさい」と教えたのです。

九月二十二日に、第一回学校保健委員会を行いました。コロナ禍でしたので、保護者の皆様の参加

はできませんでしたが、テレビ放送で、保健委員、四、六年生の児童が参加しました。テーマは「げんきもりもりな二川っ子をめざして〜ふわふわ言葉でここに大作戦〜」です。ふわふわ言葉が相手と気持ちをつなぐ大切なことであること。一人一人が言葉遣いを振り返るよい機会となりました。スクールカウンセラーの久下こころ先生が言葉についてわかりやすく説明してくださりました。



「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」

私たちは、生きていくうえで、うれしいこと、楽しいことだけでなく、つらいこと、苦しいこと、悲しいことなど、さまざまなことに出会います。困難なことに出会うと、自分だけどうしてこんなにつらい目に合うのだろうかと、ついつい相手にもつらく当たってしまうことがあります。そんなとき私は「恕」の心を思い出します。「恕」とは、相手へのやさしさ、思いやりの心です。これは、古くから日本人が大切にしてきた心です。温かい心で人に接する。心からのやさしい言葉を人にかける。これからも「ありがとう」「すみません」などの感謝の心を持ち続けていってほしいと願っています。

結びに、今年度も皆様から温かいご支援とご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

1年 「ほんごのこぼれ」

小学生生活のスタートとなる一年生。学年目標「はじめのいっぽ」を合言葉に、さまざまなことにわくわくしながら挑戦してきました。

生活「シャボン玉のひみつ発見!」では、自分の思い描くシャボン玉を作るためにはどんな道具が必要か考えたり、友達からヒントをもらったりしました。作りたいシャボン玉ができるときは歓声が上がりました。毎日行う給食の準備や片づけ、掃除も一年生にとっては「はじめのいっぽ」。なかなかうまくいかない活動には、どうしたらいいのかがみんで話し合いました。始めは先生や六年生に手伝ってもらいながら進めましたが、いつの間にか自分たちだけでもできるようになり、自信をもって活動できました。

声を掛け合いながら、できることが増えていった一年。一回り大きくなれた一年でした。



大きなシャボン玉ができました!

2年 「わく和・話・輪」を意識して

学年目標「わく和・話・輪」を意識して生活をしてきました。帰りの会では、毎日「今日のきらきらさん」の発表をしています。「ぼくが水筒を忘れていたら届けてくれたよ」「〇〇さんが、最後まであきらめずに走っていたよ」など、友達にありがとうを言われたり、褒めてもらったりして、教室には自然と笑顔があふれています。

国語「かさごぞう」では、ノートに自分の考えを書いて話し合いに臨みました。登場人物の気持ちをみんなが熱心に話し合い、学びを深めることができました。

二年生の子どもたちは、どんなことにも「やったあ」「いいね!」と、みんなで前向きに取り組んできました。さまざまな経験を通して、子どもたちの心の「わ」が広がった年間でした。



二川校区のすてきを見つけたよ!

■本年度の学校評価について (児童・保護者・教員アンケートの結果から)
※無回答は集計と比率に含めず

アンケート三者比較(児童・保護者・教職員) 1. 当てはまる 2. やや当てはまる 3. あまり当てはまらない 4. 当てはまらない

設問内容		比較	
設問①	学級活動や道徳の授業を通して、「自分や友だちを思いやる心が大切なこと」を知ることができた。	児童	保護者 教職員
道徳教育	学校は、特別活動や道徳教育に力を入れ、自他を大切にすることを育成しようとしている。 我々は、特別活動や道徳教育に力を入れ、自他を大切にすることを育成する取り組みをしている。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	
設問②	先生は、いじめは許さないという指導をしている。	児童	保護者 教職員
いじめ防止	学校は、いじめの早期解決、未然防止などに力を入れている。 我々は、いじめの早期解決、未然防止などに力を入れている。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	
設問③	「わかった、できた」という楽しさや喜びを感じる授業が多い。	児童	保護者 教職員
確かな学力の保障	学校は「わかった、できた」という楽しさや喜びを体感させられる授業を行っている。 我々は「わかった、できた」という楽しさや喜びを体感させられる授業を実践している。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	
設問④	話し合いに参加して、たくさん発言をしたり、友だちの意見をしっかりと聞いたりしている。	児童	保護者 教職員
話し合い活動	学校は、話し合い活動に力を入れ、自分自身の学びを深めさせようとしている。 我々は、授業を通して話し合いの活動の活性化を図り、主体的・対話的な授業の実践をしている。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	
設問⑤	二川小ギネスや体育の授業、外遊びなどで、力いっぱい活動している。	児童	保護者 教職員
体力向上	学校は、二川小ギネスや体育の授業、外遊びなどを通して、体力の向上を図っている。 我々は、二川小ギネスや体育の授業、外遊びなど体力の向上を図る取り組みをしている。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	
設問⑥	「早寝早起き朝ごはん」に気をつけて生活している。	児童	保護者 教職員
早寝早起き朝ごはん	学校は、「早寝早起き朝ごはん」が定着するように、家庭への啓発活動を行っている。 我々は、「早寝早起き朝ごはん」の実践を啓発する取り組みをしている。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	
設問⑦	セーフティタイムなどを通して、身のまわりの危険に気づいたり、安全について考えたりして、校内の危険や交通事故、災害から身を守ろうとしている。	児童	保護者 教職員
安全な学校づくり	学校は、安全教育を通して、「自分の身は自分で守る」意識を育てている。 我々は、交通安全や緊急時対応など、安全教育を通して、「安全な学校づくり」に努めている。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	
設問⑧	学校は、家庭・地域との連携を強化し、「社会に開かれた学校づくり」をすすめている。	保護者	教職員
地域家庭との連携	我々は、家庭・地域との連携を強化し、「社会に開かれた学校づくり」に努めている。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	
設問⑨	学校は、一人一人を大切に、その子のよさを伸ばす教育を行っている。	保護者	教職員
個に応じた教育	我々は、一人一人を大切に、その子のよさを伸ばす教育を実践している。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	
設問⑩	学校は、たより・新聞・ホームページなどで、学校の「今」を積極的に発信している。	保護者	教職員
情報発信	我々は、たより・新聞・ホームページなどで、学校の「今」を積極的に発信している。	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%	

本年度も、二川小学校の教育活動について、三者アンケートを実施しました。結果は上記の通りです。

〈学校教育活動アンケートを受けて〉 ★10項目のうち7項目で、児童・保護者より80%以上の肯定的な回答を得ました。

<記述アンケートより>今年度も保護者の皆様のご意見ありがとうございました。ご意見が多かったものから抜粋して回答します。

Q.1 学校内では、先生方が様々な取り組みをして下さっているとありますが、コロナ禍で行事や授業参観が減り、学校の様子が見えてきません。タブレットを利用しオンラインで授業参観をしていたところもあります。学校内配信をしていたらと少しでも学校の様子がわかり安心できます。

A.1 コロナ禍にあって、学校行事を中止せざるを得ず、学校に足を運んでいただく機会が減り、ご心配をおかけしました。オンライン配信の活用、行事開催方法の工夫により、子どもたちの笑顔や活動の様子が保護者の皆様にお伝えできるよう努めてまいります。また、ホームページの積極的な活用も行ってまいります。

Q.2 どこをいつまで工事しているのか子どもも保護者も気になっています。トイレが古く汚くリニューアルされるのであれば嬉しいです。

A.2 南校舎を中心に本年度は改修工事を行いました。主に外壁の耐震と雨漏りがひどかった箇所の防水改修です。また、トイレについては、北校舎1階～3階の東側のトイレ改修を終えました。2月からは新しいトイレを使用しています。なお、今後は、南校舎のトイレの改修や、体育館のスロープ設置・雨漏り改善を進めていく予定です。

Q.2 ギネス記録への挑戦、体力をつけるための外遊びの時間も積極的に作ってほしい。

A.2 ギネス記録への挑戦や体力づくりには、継続的な取り組みが必要です。それぞれの行事のねらいを明確化し、子どもたちが1年間の見通しと一人一人の目標をもって挑戦できるよう、支援してまいります。

応援メッセージ

スポーツフェスタや本爺ランなど、運動が苦手な子やどんな子でも、人としてみんなと楽しめる工夫をしてくれていてうれしい。ぜひ、来年度以降も続けてほしい。

〈令和4年度 主な行事予定〉

4月	
6日	入学式
7日	新任式・始業式
12日	2～6年給食開始
14日	退任式
18日	1年給食開始
19日	全国学力・学習状況調査(6年)
25日	授業参観・学級懇談会
26日	居住地確認(27日, 28日)
27日	1年生を迎える会
5月	
12日	健全育成会
13日	本爺ラン
6月	
17日	学校公開日
18日	豊橋・学校いのちの日
25日	創立150周年記念式典
27日	振替休業日
7月	
5日	個人懇談会(6日, 8日)
14日	5年野外教育活動(～15日)
20日	1学期終業式
21日	夏季休業開始
9月	
1日	2学期始業式
2日	作品展(～5日)
22日	授業参観・学校保健委員会
28日	6年修学旅行(～29日)
10月	
20日	就学時健康診断
22日	スポーツフェスタ
24日	振替休業日
30日	創立150周年記念演奏会
31日	振替休業日
11月	
6日	二川本陣まつり
7日	6年振替休業日
18日	市教委学校訪問
12月	
7日	個人懇談会(～9日)
16日	3時間授業(教員研修のため)
23日	2学期終業式
1月	
10日	3学期始業式
2月	
16日	学習発表会
3月	
20日	卒業式(予定)
24日	修了式(予定)

※予定ですので、今後変更の可能性もあります。

学校教育活動

スポーツフェスタ(10/23)



本爺ラン(12/8)



修学旅行(12/20・21)



本年度の
学校評価について

- ・教育活動については、教師一人一人が幅広い視点で研究・準備をして授業に取り組んでいることが感じられた。
- ・子どもたち一人一人の思いを把握して支援している学校の取り組みが感じられた。
- ・コロナ禍にあって行事のもち方が難しい状況ではあるが、感染症対策と学校なりの創意工夫をして取り組んで欲しい。
- ・150周年記念事業の活動を通し、学校と地域との連携・協働への体制ができつつある。コミュニティ・スクール化への準備も進めていって欲しい。

三十三間堂

3年 新しい自分に 向かってのびのび

学年目標「のびる」に込められた願いのように、さまざまな活動を通して、ぐんぐんと伸びた一年でした。

三年生で始まった理科や社会、英語、総合的な学習の時間といった新しい学習。自分の目で直接見て学ぶために、校外へでかける機会が多くありました。特に総合的な学習の時間には、岩屋緑地へ行き、季節によって変わる植物の様子を観察しスケッチしました。また、来年度からはじまるうさぎの飼育当番に向けて、豊橋動物公園へ行き、飼育員さんの姿を見たり、思いを聞いたりしました。

日常生活でも、勉強でわからなくて困っている友達を助けようとする姿や、みんなで力を合わせて目標を達成しようとする姿など、心温まる場面をたくさん見ることができました。これから四年生に向かって、さらにのびていきます。



「目指せ！飼育マスターへの道！」目で見て、耳で聞いて、肌で感じました

4年 「人じとら」が ピカイチ

「この子も学校生活のいろいろな場面で輝いてほしい」という願いのもと「ピカイチ」を目標にさまざまなことに取り組み、成長が見られた一年でした。

四月の最初は、ぎこちなかった飼育小屋の掃除も今では、てきぱきと行うことができます。特に成長を感じられたのが、三年生へ向けた「ウサギの世話の仕方」を伝える会です。三年生にわかりやすく伝えるために言葉や写真を選ぶだけでなく、お互いの班の発表を聞き合い、それぞれの良さを認め、更に良い所を取り入れ工夫していく姿を見ることができました。三年生から大きな拍手をもらい、笑顔輝く皆さんを見ることができ、とてもうれしかったです。

高学年の仲間入りをする四年生の皆さんの「ピカイチ」な場面が更にたくさん見られるように、ますます頑張っていきます。



「ウサギの世話の仕方を伝える会」上手につてることができたね！

5年 最高学年に向けて STEP UP

学年目標「STEP UP」に込められた願いのように、様々なことに挑戦し、成長した一年でした。

防災教育を兼ねた野外活動では、野外教育センターに避難所を設営したり、非常食を食べたりして、災害時の生活を体験しました。不自由な生活の中にも「楽しさ」を見つけて過ごそうと、みんなで工夫して取り組むことができました。

三学期になると、学校の中心として活動する機会が増えました。たてわり班で遊ぶ「エンジョイタイム」の計画では、話し合いをすすめていく中で、六年生の偉大さを実感しました。「六年生を送る会」では、一、四年生をリードして、「六年生への感謝の気持ち」が伝わる会にしよう」と準備を進めています。

この一年で経験したことを糧にして、最高学年にSTEP



避難所の設営。すき間のないように、バランスよく！

6年 「やってみよう」

本年度の六年生は「やってみよう」の学年目標のもの、さまざまなことに挑戦しています。

年間十回程度行われる「エンジョイタイム」では、各クラスで四人程度に分かれて、リーダーとして楽しい時間を企画します。回数を重ねることに、企画を考える力や指示を出す力がついてきています。十月の「スポーツフェスタ」では、率先して運動を楽しんだり、班をまとめたりする姿も見られ、成長を感じました。

十二月には、無事に修学旅行へ行くことができ、校外へ出ても、一人一人が考えて行動する姿がたくさん見られました。

年明けからは、お世話になった方々や学校に感謝の気持ちを伝えようと卒業に向けたプロジェクトを立ち上げ、がんばっています。最後まで「やってみよう」の心を大切に、最高の卒業式を迎えたいと思います。



五重塔の前で学年写真 修学旅行でもやってみよう！

「できごと」 すぎの郵便局ができた

「みんなでハッピーを届けよう」を合言葉に、すぎの郵便局を開局しました。オリジナルCMソングや、金つち、絵の具で作ったポスト、ミシンで作った郵便バッグ、のこぎりや彫刻刀で作ったスタンプなど、全て手作りです。牛乳キップやペットボトルキップと交換販売したイラスト切手付きはがきは、二千枚を超えました。「誰かのために」「自分の役割に責任をもつて行うこと」は、将来の就労への意識にもつながると考えています。友達や先生の「ありがとう」「すごい」「がんばっているね」という言葉を励みに、継続した活動にしていきたいです。



「すぎの郵便局」みんなのために、働きました

来年度にむけて

本校の「めざす子ども姿」である「やさしい子」「考える子」「たくましい子」を実現できるように、一年間の活動を振り返り、保護者の方々ははじめ地域の方々のお力をお借りしながら、さらによりよい学校を目指していきます。

本年度のアンケート結果については、裏面をご覧ください。